事例No.	1355
公表年度	R2
団体の属性	一般市
団体名	兵庫県伊丹市

事例区分	公共施設管理

タグ	・公共施設等総合管理計画 ・公共施設活用 ・観光

事例種類	集約化・複合化事業

事例内容・タイトル

総合ミュージアム等複合化事業

出典

自治体施設・インフラの老朽化対策・防災対策のための地方債活用の手引き（令和２年７月）

地方公共団体金融機構

集約化・複合化事業 ⑩

事業の概要

兵庫県伊丹市（人口19．7万人）「総合ミュージアム等複合化事業」

老朽化が進む、美術館や工芸センター等からなる市立複合施設「みやのまえ文化の郷」と市立博物館を、伊丹市の歴史・芸術・文化を発信する新たな拠点複合施設「総合ミュージアム」として再整備する。また、併せて、有効に活用されていなかったスペースを活用し、市立博物館の歴史収蔵庫の移転整備を行う。

事業のポイント

①各施設の一体利用

②施設の魅力向上・まちのにぎわい

③ユニバーサルデザイン

④機能回復・向上、老朽改修

事業実施期間：R元～R3年度
総事業費16.9億円



老朽化　市立博物館

＋ 複合化



老朽化　みやのまえ文化の郷

歴史収蔵庫を移転



総合ミュージアム



歴史収蔵庫

複合化 ＋ スペースを有効活用



自転車駐車場

再編前

施設名	延床面積
みやのまえ文化の郷（美術館、工芸センター、伊丹郷町館、柿衛文庫）	5,332㎡
博物館	1,857㎡
平松自転車駐車場	1,604㎡
合計	8,793㎡

再編後

事業名	延床面積
（新）総合ミュージアム	5,948㎡
（新）総合ミュージアム（歴史収蔵庫）	383㎡
平松自転車駐車場	1,221㎡
合計	7,552㎡

事業の効果

○ 歴史・芸術・文化施設を「総合ミュージアム」として一体的に整備することで、各分野の連携による新たな魅力や価値を創出するとともに、観光分野の強化にもつながる。

○ 老朽化した博物館を除却し、既存施設に複合化することで、維持管理経費が削減できる。また、設備（照明、空調、エレベーター等）の改修・更新を行うことで、施設の長寿命化や利用効率化が図られる。